



# 南条つ子

南条小学校だより

南条つ子は 進んで学ぶ子

R2.7.21

No.23

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



## ○ 野菜栽培 2年生



7月17日(金)、2年生の朝の様子です。晴れていたもので、水やりをしたり、オクラやナスの大きさを調べたりしました。それぞれの野菜に咲くかわいい花の様子や、オクラの実のなり方の様子(知らない人は驚くと思います。)、実の成長の様子など、とても楽しみに観察しています。子どもたちの愛情がいっぱい注がれた野菜は、順調に育っています。もうすでに大きくなって収穫できたものは、家に持ち帰っていると思います。ぜひ、料理にお使いください。

### 【校長のひとりごと】

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、行動を自粛し、必要な時以外はほとんど外出しないという生活をしている時に、次の2つのことをした人が目立って増えたようです。それは、大掃除と家庭菜園です。みなさんのご家庭では、取り組まれたでしょうか？

私は、昨年からは野菜栽培をするようになりました。遅いデビューです。特に昨年は、何もかも分からないことばかりで、ネットで調べたり、近所の人に聞いたりして、何とか行うことができました。ところが、「せっかく買った苗がダメになった。」「周りの畑と比べて、うちの畑の作物は育ちが悪い。」「周りの畑には雑草がほとんど生えていないのに、うちの畑は雑草だらけ。」など、どうしても気になる点が出てきました。初めてだし、仕事の合間の作業だから差があっても仕方がないと慰めてみるものの、何だか重い気分でした。そんな時に、近くの畑で作業をされている先輩方が、いろいろとアドバイスや励ましの言葉をくださいます。「初めてだから、失敗するのは当たり前。自分もいろいろと失敗してきた。とにかく3年間頑張るといいよ。」「もう〇〇の種は蒔いたか?」「肥料は、〇〇を使うといいよ。」「自根苗より接ぎ木苗の方が失敗しないよ。」など、大変ありがたいです。(感謝しかありません。)

また、時間と愛情をかけ苦労した後の一番の喜びは、やはり収穫の時です。いつも、「へたな育て方だけど、育ててくれてありがとう。」と本当にひとりごとを言って、収穫しています。

野菜栽培は、子育てや教育と似たところがあるのかもしれませんが、手間暇かけて愛情をたっぷり注ぎ、成長する姿を見て喜ぶことです。

## ○ 水難事故防止

7月21日(火)の新聞に、「安全対策を取っていない中、多くの海水浴客が訪れ、水難事故が心配される」というような記事が載っていました。本校でも、今年度は水泳の授業を実施していませんし、海水浴や川遊びをする場合には、十分気を付けてほしいと思います。

もしも衣服を着たまま水に落ちた場合、着衣泳を知っていると助かる場合があります。着衣泳の一番のポイントは、「あわてず、浮いて、待つ」ということだそうです。泳ぎが得意な人でも衣服が邪魔をしてなかなか思うように泳げなくなり、体力を消耗してしまいます。その代わりに、衣服は水を吸っても浮きやすく、体温低下にも役立ちます。そこで、「浮いて待つ」ために、上向きに寝た姿勢で呼吸を確保しながら浮く「ラッコ浮き(背浮き)」と、そこからゆっくり移動する「エレメンタリー・バック・ストローク(ちょうちょ泳ぎ・イカ泳ぎ)」が最も適しているそうです。また、水に落ちた人を見つけたら、声をかけ、浮きそうな物を近くに投げ入れ、救助を呼ぶ(大声で叫ぶ、119番に電話する)ことが大切です。



いざという時のために紹介しましたが、危険な目にあわないことが一番です。

## ○ 生活科 1年生



7月21日(火)、1年1組の子どもたちが、生活科の時間に校庭に出て、水鉄砲で実験をしました。家から持ってきたマヨネーズやケチャップの容器が水鉄砲に早変わり。各自が作っただめがけて、勢いよく放水しました。上手に水をかけると、的は見事に倒れました。的当ての後には、だれが一番遠くまで水を飛ばすことができるか、競争をしました。

今年の7月は、とても雨が多く、各地でたくさんの被害が出てしまいました。改めて、水の力のすごさ、こわさを思い知るようになりました。